

◆ 委員会報告

防災管理委員会

【目的】

当委員会は災害発生時の対策・対応について検討し、計画・実行することを目的とし、防災訓練や新人オリエンテーション・防災教育を計画・実行、職員の防災意識向上に努める。

【委員会構成】

庄野診療部長（委員長）

看護師 2 名 臨床工学士 1 名 事務 1 名

【内容】

- ① 規約について
- ② 防火管理者について
- ③ 消防計画書の内容について
- ④ 消防訓練の開催計画
- ⑤ 新人オリエンテーションの防災教育について

医療ガス安全管理委員会

【目的】

当委員会は医療ガスに関する点検・整備及び使用量の報告を行い、安全管理に努めることを目的とする。

【委員会構成】

庄野診療部長（委員長）

看護師 2 名 臨床工学士 1 名 事務 1 名

【内容】

- ① 規約について
- ② 日常点検状況説明
- ③ 医療ガス使用量の報告
- ④ 医療ガスの識別（色別）と他施設の事故報告
- ⑤ 来年度の整備計画について説明

※ 引渡日の2003年10月21日を工事完了日とし、それから1年間は無償点検することで帰結。

栄養管理・NST・褥瘡管理委員会

【目的】

栄養管理業務・NST活動・褥瘡管理に関する検討、対策を行う。

【委員会構成】

医師 1 名 看護師 4 名 管理栄養士 1 名

【内容】

- ・NST活動開始（介入基準の設定や評価シート作成、活用）

- ・NST・褥瘡回診（週1回）
- ・NST関連のデータ収集
- ・給食管理業務についての報告、検討、対策
- ・褥瘡管理業務に関する必要事項の検討、対策

医療倫理委員会

【目的】

「臨床研究に関する倫理指針」を理解し、患者の福利に対する配慮等について審議を行う。

【委員会構成】

医師 3 名 看護師 2 名 薬剤師 1 名 事務 1 名

【内容】

2003年度は、申請された臨床研究が、患者の不利益にならず、また患者の安全面、プライバシーなど、倫理的に問題がないかについて審議したのを始め、年6回開催。特に2003年7月に規制当局より「臨床研究に関する倫理指針」が公表・施行されたこともあり、本委員会でも審議を行った。

また、当院が今後掲げていく「患者の権利と義務」に関しても熊本病院や他院との比較を行い、より判りやすい表記方法の検討を行った。2004年度中に決定し、表示を行う。

薬事審議委員会

【目的】

新薬の採用を中心に、削除薬の検討（一増一減を基本に）救急外来ストック薬の構築等、医薬品の適正使用について検討する。

【委員会構成】

医師 2 名 看護師 1 名 薬剤師 1 名 事務 1 名

【内容】

2003年6月、みすみ病院第1回目の薬事審議委員会を開催。規約に基づき、2ヵ月に1回の開催を基本とし、2003年度は6回の審議を行った。2003年度、新規採用薬15品目、削除薬13品目、2004年度は、開院1年を経過し140床フルオープンとなり、対象疾患の多様化・複雑化、医薬品の使用量増加等が予測され、それに伴い、新規採用薬の申請が多くなるものと考えられる。これまでの医薬品使用実績、患者負担の少ない医薬品の使用等も勘案し、さらなる医薬品の適正使用の為、本委員会を運営して行く。

診療機材購入検討委員会

【目 的】

診療材料購入に関する審議を行う。

【委員会構成】

委員長 診療部長 医師 2 名 看護部長
看護師 1 名 薬剤師 1 名 事務員 1 名

【内 容】

当初は「診療材料購入検討委員会」の名称で開始したが、高額医療機器や保守契約等について、診療方針や収支見込を参考として検討を行う機能を追加し、名称の変更を行った。さらに今年度（2003年度）の購入計画作成においては、補助金対象機器の検証や、回復期リハビリ病棟の開始に必要な機器についての審議を行った。

2004年度購入予定医療機器（概要）

泌尿器内視鏡装置、TURセット、直腸エコープローブ、関節鏡、スクリーガイドセット、骨密度測定装置、電動ベッド、医用テレメータ、OT／ST器具

連携協議会

【目 的】

関連医療・福祉機関との病診・病病連携を円滑に行うため、病診連携の実情を調査し、他の医療施設との連絡を行う。

【委員会構成】

委員長 大久保 等
医師 1 名 看護師 6 名 理学療法士 1 名
事務 1 名 計10名

【内 容】

- ・第1回 宇土郡市・上天草地区病診連携会議開催（2002年10月）22施設53名参加
- ・パンフレット作成（開院前のリーフレット：3000部）
- ・外来一覧表の配布
- ・病院説明会（三角町、大矢野町住民、区長、民生委員、老人会、婦人会など）2003年2月開催
- ・院内誌「済生くまもと」内容検討
- ・診療体制の配布（4月末）
- ・町行事への参加（7月20日港祭り）、ハッピー作成
- ・第2回 病診連携会議の開催について（9月12日）「マルチスライスCTの有用性と遠隔診断」
- ・パンフレットの作成（1,000部）
- ・クリスマスの集い開催（12月23日）
- ・第3回 病診連携会議の開催について（2004年2月23日）「静音型1.5テスラMRIの臨床的有用性について」

- ・ホームページ更新
- ・三角町役場発行 広報「みすみ」への記事掲載
- ・大矢野町役場発行 広報誌への記事掲載働きかけ
- ・広報プロジェクト立ち上げ

連携協議会 広報プロジェクト

【目 的】

連携協議会の中であって、患者及び住民・他の医療機関へ当院を広く知って頂くための広報誌・ホームページ等の作成・整備及び講演活動の計画、その他広報を行う。また、職員に対しての院内広報を行う。

【委員会構成】

リーダー 益山医師
看護師 3 名 薬剤師、放射線技師、検査技師 各 1 名
事務 3 名 計10名

【内 容】

- ・ホームページ内容検討
- ・院内誌「済生くまもと」第59号内容検討
- ・広報「みすみ」への記事掲載
- ・患者向け 健康広報検討

教育委員会

【目 的】

病院全体として教育研修の体系化をはかり、有用で効率的な教育を実現する。また、充実した教育研修を計画することにより職員の能力・モチベーションアップをはかる。

【委員会構成】

田中看護部長（委員長）
看護師 2 名 臨床検査技師 1 名 事務 1 名

【内 容】

2004年度は、職種横断的な教育の検討、新人職員入職時研修スケジュール作成の2項目を主要テーマに取り上げ議論した。

職種横断的な教育については、セイフティマネジメント、院内感染、クリニカルパス、医療情勢、リーダーシップ等の講演会を定期的に実施する方向で検討していく。各職種の専門的な教育については各部署で対応する。

新人職員入職時研修スケジュールについては、2004年4月に新人職員が20数名入職するため、入職時2日間の研修内容を協議し、計画した。

職員の能力・モチベーションアップにつながるよう、2004年度は上記計画に加え、教育研修プログラムの作成等にも取り組んでいく。

職 場 会

【目 的】

職員間のコミュニケーションを図り、現場の声を反映させて働きやすい職場作りをし、職員の処遇や福利厚生を考えていく。

【委員会構成】

委員長 松村医師

看護師 4 名 看護助手、薬剤師、放射線技師、検査技師、
臨床工学技師、栄養管理師各 1 名 事務 2 名 計 13 名

【内 容】

- ・退職金制度の変更について承認
- ・職員アンケート調査実施
- ・イベントの計画、呼びかけ（ミニバレー大会10月11日）
- ・旅行やレクリエーションのアンケート内容を検討
- ・職場会からの声を病院側に反映
- ・ナースキャップの廃止
- ・忘年会内容検討、司会、進行（前半：12月10日、後半：12月19日）
- ・患者さんへの対応（はあとふるキャンペーン）アンケート実施
- ・職員意見箱設置（2004年2月より 男性、女性、医局ロッカー）
回 収……………月一回（第一水曜）の職場会開催日。
出された意見……職場会で検討後、病院・担当部署・委員会などに要望。改善をはかる。
- ・患者さんの待ち時間調べ実施
- ・職員の福利厚生に係わる年間行事検討

回復期リハビリテーション病棟開設プロジェクト

【目 的】

回復期リハビリ病棟開設に向けた諸準備・内容の検討をする。

【委員会構成】

委員長 宮川医師

医師 1 名 看護師 3 名 理学療法士 1 名
放射線技師 1 名 栄養管理士 1 名 事務 2 名

【内 容】

当地域には回復期リハビリテーションを行っている病院がなく、当院で急性期医療を行った後も地域外に転院し、リハビリテーションを続けなければならない状況にある。このような状況の中、回復期リハビリテーション病棟開設プロジェ

クトは2004年度中の同病棟開設を目指し、2003年4月に山城医師を委員長として設立された。同年、8月に小倉リハビリテーション病院の視察を行い、院内報告会を行った。2004年1月には回復期リハビリテーション病棟専従医の宮川医師が着任され、本格的な開設準備に移り、翌2月には三角・大矢野町での連携会議の場で、回復期リハビリテーション開設に向けての当院の取り組みを報告した。2004年4月からは理学療法士の増員、作業療法士・言語聴覚療法士採用も決定しており、回復期リハビリテーション実施体制が整備されている。作業療法・言語聴覚療法の施設認可申請は、2004年5月1日付けで行う予定であり、回復期リハビリテーション病棟は6月の運用実績を下に7月に開設される予定である。

医療事故防止対策委員会

【目 的】

主に医療者の立場から医療事故を未然に防止するための対策案の検討と、それを実施するために協議検討することを目的とする。

【委員会構成】

委員長 松村医師

医師 1 名 看護師 5 名 薬剤師 1 名 検査技師 1 名
事務 1 名

【内 容】

- ① インシデントレポート報告
- ② インシデント防止のための対策
- ③ 職員向け事故防止対策講演会の実施

院内感染対策委員会

【目 的】

院内感染を防ぐために院内の感染状況を把握し感染予防を推進する。

【委員会構成】

委員長 松村医師

医師 1 名 看護師 5 名 薬剤師 1 名 検査技師 1 名
事務 1 名

【内 容】

- ① 毎月の感染レポートのチェック
- ② その他院内外の感染症の把握と対策